

特 220

145

野龍一著

少年
少女
就職の心得

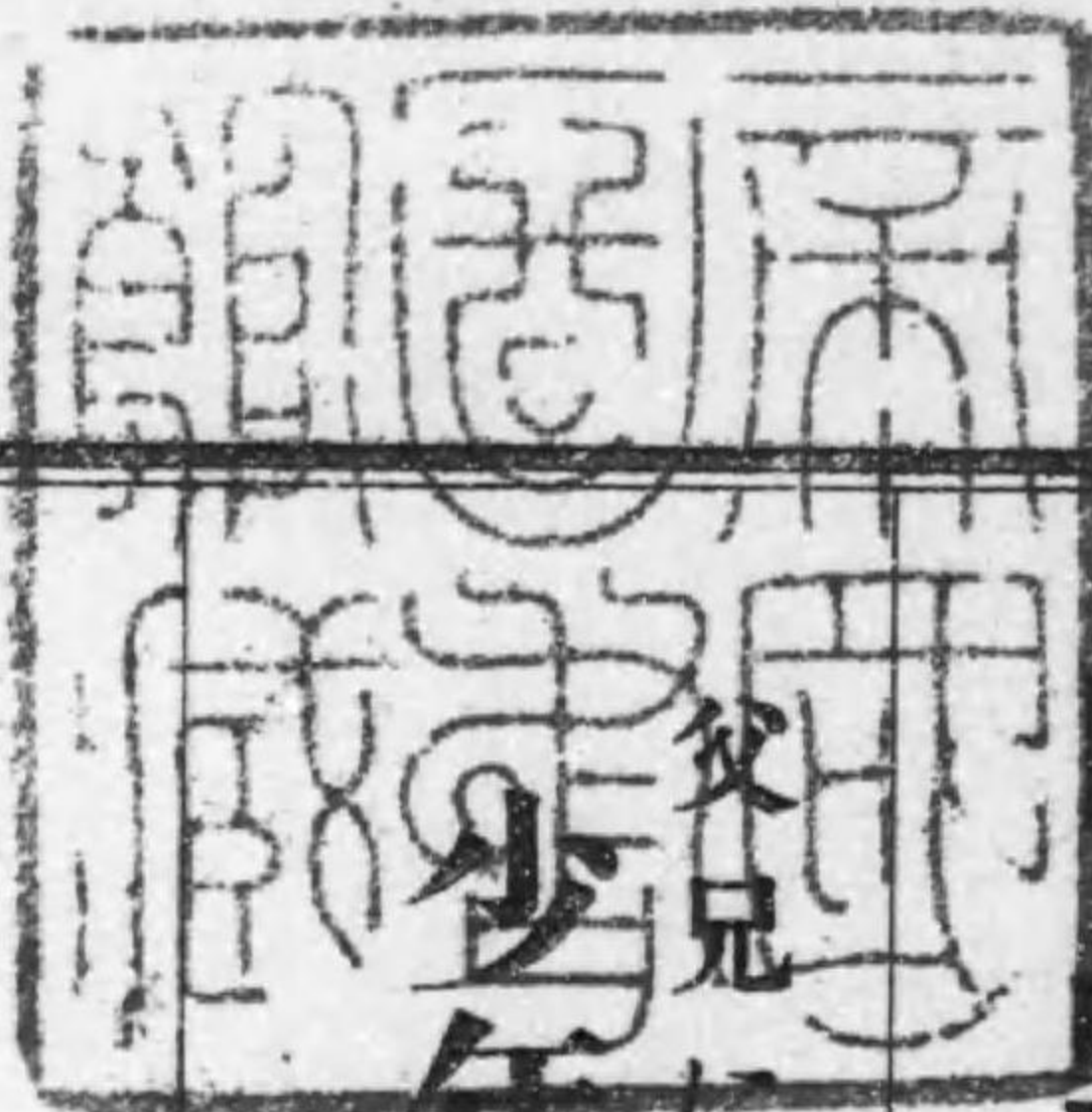
父兄に告ぐ！



始



特220
145



岡野龍一著

父兄に告ぐ

少年少女就職の心得

日本講演通信社版



序にかへて

一時、流行語として『大學は出たけれど』と云ふ言葉が出来たほど、就職問題が大きな社會問題として人々を悩ましてゐます。

この問題に就いては、日本のみでなく歐米諸國に於ても一大國策として論議の焦點となつてゐる現状であります。之に對する解決方法に就ては、種々考へられませうが、先づ就職する者の準備と心構へが最も大切と信じます。子弟の就職について、父兄が漫然と子供の將來を考へずに就職せしめ、或は上級學校に入學さす事は誠に危険であります。選職を誤つたために折角優秀な天分を持ちながら、一生不遇に終る人々は數限

りもありません。實に悲しむべき事です。

私は自分の恵まれざる境遇及び體驗から此の點に付ては人一倍關心を持つてゐます。但し茲には人生のスタートである少年少女の就職に付て指導の立場にある方々の心得べき最も重要な諸點に就いて、平素私の考へてゐる所見の一端を披瀝しました。父兄及び教師の御參考になれば、望外の幸であります。

尙本稿上梓に當り、東京市少年少女職業紹介所中西運造氏が資料其他種々御盡力下された事を茲に記して、其の御厚意を深謝いたします。

昭和十二年二月

著 者 識

目 次

第一章 職業に對する正しい認識	三
一、職業の階級的觀念	三
二、職業の必要と將來の獨立性	八
三、職業の展望	九
四、職業の分析	一四
五、職業病	一六
第二章 職業指導の必要	一九
一、職業指導は如何にすべきか	一九
二、職業の選び方	二六

三、職業人としての修養……………三二

四、職業の調査と研究……………三四

第三章 職業と進學の關係……………三九

一、卒業後の就職關係……………三九

二、社會に於ける人事行政の展望……………四二

三、少年職業問題の特異性……………四五

四、少年の就職と年齢の關係……………四七

第四章 人口増加に對する青少年の職業問題……………五〇

一、都市と地方との少年人口……………五〇

二、都市少年の希望職業……………五一

第五章 女子の職業問題……………五五

一、女子の特異性と低賃銀關係……………五五

二、女子の職業に對する誘惑……………五六

三、女子の適職と不適職……………五九

四、就職の心得……………六四

父兄に告ぐ

少年
少女
就職の心得

岡野龍一著

第一章 職業に對する正しい認識

一、職業の階級的觀念

健全な職業に就くと云ふことは、一國の盛衰に影響するとまで云はれてゐます。現代の青少年諸君は、學校から社會へと人生々活の第一歩に入る時に、先づ第一に職業に就くと云ふことを考へさせられる。これは上は大學から下は小學校に至るまでその卒業生の約八〇%までが就職戦線に雄飛するのが社會現象であります。處が之等の青少年諸君が如何なる理由で如何なる職業を選ぶかと云ふ事については、從來斯の道の研究

をなしつゝある學者や、實際家の調査によるとその大部分が漠然として
ある様であります。これは青少年諸君のみでなく、その父兄達も實は子
供の選職については割合單純で、併も功利的利己的で更に又職業に對す
る觀念が餘りに階級意識（或は貴賤と申しますか）に囚はれてゐないか
と思はれるのであります。

俳人一茶の句に『雪の日やあれも人の子樽拾ひ』と云ふのがあります
が、これは一茶流の人情味ある句として有名であります。吾々凡人の
耳には『樽拾ひ』と云ふ言葉がどうも職業的に何だか侮蔑の意味に響い
て來るのであります。今日では樽拾ひから小僧さん、小店員と云ふ風
にその名稱も變つてまゐりました。これと同じ意味で『職工、下女、交

換手、車掌等或は職業婦人』などと一種特別な感じて用ひられてゐる反
面に官吏とか軍人會社員など云ふ言葉が一種の羨望的言葉に用ひられて
ゐるに徴しましてもそこに何だか職業に對する階級的に囚はれてゐる様
に見受けるのであります。學校では『職業には貴賤上下はない』と教へ
ながら尙且つ選職に對し或は進學に對してそうした氣持が過分に含まれ
てゐる様に見受けまゝ。併し『職業とは人がその性能に應じて社會共同
生活の或部門を分擔し、之に參與貢獻すると共に通常之に因つて受くる
報酬を以て其の生活を維持充實する繼續的勤勞なり』（文部省主催職業指
導調査協議會）と定義を下してゐるに見ましても各自の持つ職業と云ふ
ものが

イ、各自の性能に適應すること。

ロ、共同生活の一部門を分擔貢獻すること。

ハ、これに因つて報酬を得ること。

ニ、生活維持の爲めの繼續的勤勞なること。

等が判切りと言ひ現はしてゐる様に、其處に何等の階級的差別のある筈なく、只その目的とする處は國家社會の共同生活に對する義務と云つてもよいと思ふのであります。

併しながら我國ではこうした觀念は、封建時代の士農工商の階級的意識から明治維新後に於ける官尊民卑的な所謂傳統的觀念とでも申しませうか、その氣持が一朝一夕に除去されるには相當困難かも知れません。

父兄が子弟に教育を施すのも『やがてそれによつて出世したら左團扇で厄介にならう』と云ふ氣持で教育されて來た。青少年諸君が、勢ひ階級的な氣持で選職するのも或は傳統のかも知れません。それが近頃『大學は出たけれど』と云ふ就職難ナンセンスの言葉の流行となるのも無理ではないと思ひます。しかし最近では、こうした就職難を考へさせられて、一般父兄も進學の際既に從來の考へ方とは餘程違つて來てゐる様にも見受けられます。之れは是非共進學並に選學に際しては『失業』と云ふ問題を充分に考慮して、確固たる職業人を造り上げる信念の下に教育されることを切望するのであります。

二、職業の必要と將來の獨立性

人が社會共同生活を營む上に於て、又現代の經濟支配の下におかれてある以上は、どうしても職業によつて報酬を受けねば成立たないことは言ふまでもありません。世の諺にも「坐して喰へば山をも空し」とあります様に、如何なる人でも職業を持たずには生きて行けない、又それが永續的でなければいけないのであります。そして又各自の持つ職業が獨立性を有すれば尙可なのであります。

今日の勤人所謂サラリーマンなるものが、何處まで職業的に身分が保證されてゐるかと思ふ事を考へる時、特に獨立性の必要を痛感します。

そこには淘汰も停年制もまた隷屬的な卑屈性もない。

自己の獨立した職業の強味、その研磨努力、進歩發達、繁榮の愉快にして、しかもそれが自家子孫の爲めのみでなく、國家社會の爲めにも貢獻する處甚大なるものを思ふのであります。世の多くの青少年が就職するに先立ちて先づ此の點の見極めを判然として置かねば臆ては、誠首淘汰に逢ひて世の資本家を詛ひ、上司を怨むことになり世の反逆者ともならぬと誰れが云へませう。

三、職業の展望

そこで、正しい認識の下に、職業に就かんとするにはどうしたらよい

一〇
 か？ それは職業を知ることとせう。現在世界を通じて職業の種類が幾種類あるかについて見ましても、到底数へ切れなない程あります。今日の調査によりますと凡そ數萬と云はれて居ります。現在職業紹介所に於いて用ひられてゐる職業だけでも五拾九種ありまして、職業分類として掲げて見ますと

工業(及鑛業)	土木建築	商業	農林業
一、製紡織 二、染色 三、機具 四、船舶器具 五、電氣瓦斯 六、金屬工業 七、製煉 八、製煉 九、製煉 一〇、製煉 一一、製煉 一二、製煉 一三、製煉 一四、製煉 一五、嗜好品 一六、採鑛冶 一七、其他	一八、大工 一九、左官 二〇、石工 二一、土方 二二、其他	二三、店員 二四、小商店員 二五、商店雜役 二六、飲食店雇人 二七、行商 二八、其他	二九、農作園藝 三〇、養蠶 三一、林業 三二、其他

水産業	通信運輸	戸内使用人	雑業
三三、滿撈養殖 三四、製鹽 三五、其他	三六、船員 三七、鐵道從業員 三八、電鐵從業員 三九、自動車從業員 四〇、通信從業員 四一、運送業 四二、車夫馬丁 四三、其他	四四、傭婢 四五、乳母子守 四六、書生給仕 四七、番人小使 四八、其他	四九、官公吏 五〇、教員 五一、事務員 五二、看護人 五三、醫師 五四、藥局員 五五、外交集金人 五六、配達人 五七、理髮 五八、娛樂場雇人 五九、其他

以上が職業紹介法による職業分類であります。其の用語の時代に適しないもの多々ある點に於ても役所的な處があり、一般から見ても不満の用語があることと思ひます。これ等は單に職業紹介所で用ひられる公文語であります。一方求職者は更にこれを細分類した即ち、工業方面に於ては機械工、更に之を分類して旋盤工、仕上工、ミールング工、鍛冶工、木型工等々に希望して來るのであります。

斯くの如く、多種多様に吾々の職業が幾通りにも別れて居り、更に科學の進歩するに従つて新しい職業が生れるので（最近に於けるエアールガールの如きもの）あります。

四、職業分析

職業の種類が前申述べた様に各種に別れてゐるので、どれがその中で一番自分に好適であるかを識るに、先づその職業の性質を分析して見るのも必要のことてあります。即ち自分が職業に就かんとするは、先づ(一)職業に對する條件、(二)之れに對する自己の資格、(三)これによりて得る收入、この三點を考へる心構へが必要であると同時に、其職業の社會的、經濟的、醫學的等の各方面から見た將來性に對する考察をも必要とするのであります。

イ、社會的に見た職業の道德性に反してはゐないか、又其職業が一の社會問題として資本家と労働運動の關係、失業問題或は地位的向上關係、

ロ、經濟的に見て資本關係、金融關係、組合組織關係、貿易關係等、
 ハ、教育的に見て科學の進歩に因るその職業の退廢關係若くは發展性或は人格の向上關係等。

ニ、醫學的に見てその職業に因る生理的に及ぼす影響若くは職業病に就いて。
 等々その就かんとする職業に關する限り、先輩知友の意見を求める等の事は細大知悉する必要があります。

五、職業病

前項に於いて醫學的に見た職業について一寸申述べた所の職業病について今少し細かく申述べて見ませう。これは將來自己繁榮に重大な關係があるのでありまして、就職せんとする者、若くはその父兄達が只眼前の經濟的に收入のみに眩惑されて困つてやがて恐るべき自己の身體に及ぼす影響に大なるかに氣附かず、漫然と就職し悔を千載に残さぬ様注意せねばならぬ事柄であります。そこに又其人自體の體質的にも選ぶべき職業と忌避すべき職業とがありまして、左にその一例を掲げますと、

(不適正の體質)

(不適正の職業)

- | | |
|----------|------------------|
| 1 色盲 | 交通、電氣事業、畫家、百貨店員 |
| 2 扁平足及脚氣 | 交通従業員、百貨店員等歩行並立業 |
| 3 呼吸器病 | 接客、その他坐業 |

等は本人の體質による不適職でありまして、これを強ひて就職した場合自己の生命を縮めるは因より延ては社會に害毒や危険を加へることにあります。又一方職業により自分が病氣に罹る場合も、各職業により専門家の調査によりますと、

- | 職業 | 病名 |
|-------|----------------|
| 1 鑛夫 | 肺氣腫、炭肺、リユーマチス等 |
| 2 紡績工 | 肺氣腫、結核等 |

3 金屬研磨工

肺結核等

4 人絹工

劇藥中毒等

5 陶器工

鉛中毒等

以上は單にその一例に過ぎず、更に病とは云へないけれども所謂職業病と稱へられてゐる一種の變形若くは習癖となるべきもので、彼の疊職人の肘の俗にタコの如き、酒造職人のアルコール中毒に近き飲酒癖の如きもの等、相當就職に際して考慮すべきものが多々あるのでありますから、この點は本人は固よりその父兄並指導に當る人達も注意すべきことと思ひます。

第二章 職業指導の必要

一、職業指導は如何にすべきか

最近青少年特に少年の小學校を卒業と同時に社會の一員として就職せんとするものの爲めに職業指導と云ふことは、世界各國とも重要視して來た様に思ふ。歐米先進國では既に三十年の歴史を持つて居るが我國では僅かに十年の歴史しか持たない。さりながら此の十年間の内務文部兩省の斯道に對する努力は相當全國的に普及されて今日に於ては、學校と家庭それに職業紹介所と相提携して指導してゐますので、今日の少年諸

君は就職については可なり迷ふ處も少なく就職が出来る様になつた。とは云へまたその父兄間に稍ともすれば、眼前の利慾に走り少年の職業の將來に對する大切なことを忘却してゐる氣風の見へるのは遺憾のことと云はねばなりません。

現在學校に於ける職業指導は、各擔任の先生が可なり熱心に研究指導されてゐますがまだ、稍もすれば教育主義で實情に疎い嫌ひがあるので、一面職業紹介所が社會の實情に相當知識經驗を持つことを利用して、これを補ふことになつて居りますが、卒直に云へば今日の職業指導と云ふものが、只求職兒童の方面のみの指導であつて雇傭主の指導が伴はない、學者や研究家は雇傭主は就職後に輔導すべき様申されますが、少年の場

合は寧ろ就職前に雇傭主も採用に際しては、指導精神を過分に持つて臨まねばならぬ。即ち雇傭主、先生、職業紹介所員、父兄と合體して少年の職業に對して指導せねば健全な國家の職業人を造り上げることは出来ないと思ふのであります。

職業指導が只雇傭主は自家の實用主義に流れてはいけない!!

學校の先生は只教育的のみてはいけない!!

紹介所員は就職率を高めるだけてはいけない!!

父兄は自分の子供の就職問題を、先生や紹介所へ任せ放してはいけない!!

と思ふのであります。彼の有名なフランクリンは我兒の職業を決めるには先づ、市中の色々な職業について實地見學させて、その少年の最も好

むものを選ばしたと云ふことです。因よりその少年の適性については考慮に入れてゐることは勿論と思ひます。

父兄なり先生は、日頃その少年の個性については充分に觀察知悉してゐられることでせうから、これを就職斡旋する紹介所員に報告すると同時に、紹介所員はこれを雇傭主の採用條件に適應して推薦することが最も必要であらうと思ふ。又雇傭主はその職業の内容過程、勤勞狀態、待遇、教養施設並に、福利施設等に細心の注意を拂ふは固よりこれを充分雇入れに際して紹介所員に説明する義務があらねばならぬと思ひます。これ等の點を要約しますと、

1 學校に於ける職業指導

イ、教材、實習、見學等に重きを置き調査研究すること。

ロ、父兄と聯絡を密にし、各個性を認識するに努め道德的に職業的教育を施すこと。

ハ、職業紹介所と聯絡を密にし、雇傭條件に對して選職を適正にするること。

2 父兄の職業指導

イ、自分の過去を顧み現代の社會情勢を通觀し、子供の個性に基き將來確固たる職業人たらしめるに努力すること。

ロ、眼前の小利を棄て、専ら子供の將來性を念とすること。

ハ、學校並に紹介所と聯絡を密にすること。

ニ、子供同伴若くは代つて希望せんとする、若くは選ばんとする職業について調査研究すること。

3

職業紹介所に於ける職業指導

イ、日常社會情勢につき調査研究し、殊に雇傭條件については詳細に調査研究し、選職相談に際し適正に努むること。

ロ、學校と聯絡を密にし、前項の調査研究に對しては常に資料の交換をなすこと。

ハ、就職斡旋に際しては、量より質に重點を置き將來の失業問題を顧慮して就職後の輔導に努めること。

ニ、未就職兒童に對しては、職業輔育により就職の機會を多からし

むること。

ホ、學校と協力して、實習講習の機會を多からしむること。

4

雇傭主の職業指導

イ、自家の實用主義を棄て、國家産業開發に協力せんとする者の爲め、其指導精神に立脚すること。

ロ、自家の職業の内容、採用條件、待遇並教養福利施設等につき、充分紹介所若くは求職者に知らしむること。

ハ、職業人としての教育的指導陶冶をなすこと。

以上職業指導に當つては、常に國家的見地を以て臨んで欲しいと思ひます。

二、職業の選び方

前項に申述べました様な職業指導を受けた少年諸君は、然らば自分は如何なる職業に就いたならよいかと云ふ事を考へるでせう。併しながらまた智育的にも、體育的にも、幼稚な少年にとつては自分の將來の職業に對してはこれを決定するに余りにも大きな重荷と云はねばなりません。世の中に俗に『好きこそ物の上手なれ』とか云ひますが、職業を選ぶにも先づ此の點を考慮に入れる必要があると思ひます。前申しましたフランクリンが自分の子供達の職業を選ぶに、その子供達の好適を先づ考へたものと思ひます。この出發點から更に、自分自身の性能を分析す

ることが最も必要であります。即ち自分が選ばんとする職業に對して自分の體質、智能、特徴等について反省して見ることです。一例を示しますと、

一、機械工見習

- 1 數學は中以上なること。
- 2 身長一五〇センチ以上。
- 3 視力〇・七以上なること。
- 4 扁平足でないもの。
- 5 色盲でないもの。
- 6 胸圍七五以上のもの。

等身體強健なることは固よりでありまして、以上の資格を備へてあるかどうか又、

二、給 仕

- 1 學業優秀なもの（席次十番以内）
- 2 言語明瞭のもの。
- 3 容姿端麗のもの。
- 4 忍耐力あるもの。
- 5 友人間との協調性あるもの。
- 6 身體強健のもの。

等の採用條件に對して、自己の全體的に資格ありや否やを反省し、然

る後志望すべきであると思ひます。

世の中には父兄達の認識不足から、よく占ひなど輕々に少年諸君の職業を選んだりする傾向がありますが、これなどは最も避けねばならない事だと思ひます。最近では心理學的な性能審査と稱して、智能的に或は技能的にメンタルテストを行つて各自の適性を發見する方法が用ひられてゐますが、これとてもその結果によつて何職業を選べとは云はないので只『こう云ふ職業がよからう』と云ふ程度のものであります。占ひや觀相家頼みの選職よりはよいと思ひます。又近代の大工場等などでの採用方針は多くテストを用ひて居りますから、選職に迷ふ父兄やその少年達はそうした場合は先づ、性能検査を行つて貰ふのも必要と思ひます。

次に自己分析によつて、大體自分の適性が判然としたならば、その職業の將來性について考へねばなりません。世の人達は只單に『將來有望な職業でありさえすれば』と云ふ人がありますが、有望なるが故に確實とは云はれない。例へばラヂオ工の場合ラヂオは現在日本中津々浦々まで普及して居ります。何處でも職業として生活して行ける様に思ふ、併し、その土地々によつてそれがよいとなれば必ずや其處に大資本を投じて、大量に安價にやる事業家が現はれる。勢ひ大資本に勝ち得ず、營業不振は失業に轉落せしめられる。ラヂオ工は有望であるけれども、大資本に負かされるのでは結局面白くない。又製圖工について見ますと現在では製圖工は、如何なる機械を以つてしても人間の技巧には及ばな

い『將來は有望か』と云へば、そう飛びつく程でもないが機械力に壓倒される虞はない。如何に大資本を以つてしても其の人の持つ特種技能には勝てない。

こうした見方による選職も考へられる。又其次は職業と資本の關係であります。曩にも申上げた様に自分の職業は將來獨立してやらねばならぬと思ふ時、その職業は何程の資本で獨立出来るかを考へねばならぬ。無資本のものが大きな希望を持つても、實現性がなくてはなんにもならない。更にその職業の道德性をも考へねばならない。即ち自分の人格が其職業に因つて向上するかどうか、或は社會的道德に見て害悪を及ぼしはしないかどうか、等も考へねばなりません。

三二
之等の諸點は更に細く説明すれば、際限がありませんが、大體以上の
關聯した事柄について、充分考察して選職すればよいと思ひます。

三、職業人としての修養

最近の生産界に於ける科學の發達に伴ふ機械化は、漸次發明以前の人
間を驅逐する傾向にあることは何人も認める事でありませう。同時に又
機械化に因る作業の分業化は人が職業を持つ上に大きな不安を與へるの
であります。それは一つの作業に對する機能が機械化され、部分化され
てそこに何等の完成意識を持たない云はば、機械の部分品の様なものが
出來上り、折角修得した技能の應用性が甚だせばめられて來ることであ

ります。従つて、常に與へられた同一軌道の上を走る様な單純な生活を
餘儀なくされ遂には仕事に對する興味がなくなり、轉職へと心が傾くか
他に快味の刺戟を求めるか、さもなければ神經衰弱となり、總ては失業
とまで轉落すると云ふ人生悲劇を終始せねばならない。こうした事柄に
對しては、前にも申上げた様に選職に際して充分その職業を研究するこ
とは申すまでもありませんが、かかる場合でも常に自己の向上作業に對
する研究を、怠らぬ様心掛け作業に對する飽怠を戒め、社會の誘惑に打
ち克たねばなりません、そこに更に職業の輔導の必要を生じて來るので
あります。

四、職業の調査と研究

職業を選ぶについては、前に資格条件等について申述べましたが、更に自分が職業に就かんとするにはその職業の内容について調査研究をする必要があると思ひますが、これは矢張り先輩や先生や紹介所や父兄の力を借りねばなりません。そこで先づ、職業の内容について探究して行きますと、

- イ、仕事の内容についてはどんな仕事をして何を造るのか。
- ロ、その職業の働く場所の規模職員の数などはどの位か。
- ハ、仕事を覺へ込むのはどんな風にして一人前の熟練工になれるのか

- ニ、労働時間は何時間位か、公休日は何日か。
- ホ、賃銀はどの位か、日給か時給か。
- ヘ、通勤か住込みか、通勤の場合地理的に見て遠いか交通便はどうか。
- ト、これまでの營業状態がどんな具合か、將來も有望かどうか。
- チ、仕事を覺へ込むに教育施設或は、寄宿舎(青年訓練所の如きもの)はどうか。

- リ、仲間の組合組織はどんな状態か。
- ヌ、病療施設はどんな風か、危険程度はどうか。
- ル、娯樂施設はあるかどうか。

等出来るだけ詳細に調査し、そして勤続した結果將來どう云ふ地位收

入になるかと云ふ様な點に對しても充分研究して置く必要があります。近頃夏休暇など利用して實習生として働いて、労働の體驗は固よりこうした職業の内容を調査研究をしてゐるのですが、この外雑誌や其他の参考書を見るのもよいと思ひます。實例について一言して見ますと、或る旋盤工見習志願の少年が採用されて働いて見ますと、来る日も／＼雑用ばかりさせられるので『自分は旋盤工を習ひに來たのだから機械に就かして貰ひたいと申出たが固より旋盤工見習は最初の一年乃至一年半は主に雑役的な仕事をさせられ、その間に材料の見分け方や、機械の扱ひ方を覺へてから初めて簡単な仕事を旋盤によつてすると云ふ風になつて居り、何處の工場でも直ぐに旋盤機を取扱はせることは非常に危険である

ので許される筈はないのであります。こうした少年達の想像と現實とが餘程勝手が違ふので、不平を持ち轉職すると云ふ實例は非常に多いのであります。これ等の點は就職前其の職業の作業内容を充分調査研究してゐなかつた結果から起るのであります。左に簡単に述べて見ませう。

1 機械工

イ、旋盤工 一年乃至二年間助手並に雑役。

ロ、ミーリング工 同上。

ハ、仕上工 主として手先の技術で鑢とハンマーとタガネ

にて金屬を削る練習。

2 印刷工

イ、植字工 助手並に雑役から漸次習得する。 三八

ロ、解版工 同上。

ハ、鑄造工 同上。

以上は只簡単に其の一例を示したに過ぎませんが、見習工としては大體初めは先輩の助手や雑役をする間にその工場の機械工具の名前や、用語を覚えへ込むのであることを豫めお考置きを願ひたいのであります。

第三章 職業と進歩の關係

一、卒業後の就職關係

國民の生活程度の向上は、單に經濟的事情のみでなくこれに伴ふ教育の普及にある事は今更申上げるまでもないことと思ひます。職業的から社會の情勢に見ましても、雇傭主が採用に際しては、現在尙學歷に重きを置く點から見ましても、教育の必要は肯けますし、更に又生理的方面から見ましても今日専門家の意見によりますと、年齢と就職の點が體質の發育に弊害ありとして、歐米では既に就職年齢を引上げることが相當

喧ましく傳へられて居ります。我國では現在の經濟的から見ても容れられない社會情勢にありまして、後に述べます様に諸外國とは就職年齢が低下して居ります。兎も角少年の早期就勞に對して、進學せしむることは國民の保健上からも生活上の點からも非常によいことと思ひますが、今日の進學状態を見ますと比較的に少年の將來の職業問題と云ふ觀念から離れた、一種の教育的虚榮と云ふと語弊があるかも知れませんが、見榮で進學させる、或は子供が高等教育を受けそれで出世したら親は左圓扇で暮したいと云ふ氣持が過分にあるのではないでせうか。最近の父兄の氣持は大分實務教育に傾いて來た様ですが、最近迄はそうではなかつた様に見受けます。『試験地獄』と云ふのが新聞紙で相當問題にされて

あるのも一面には教育の普及向上かも知れませんが、それが中學校にのみ重點を置かれるのは何故でせうか？ 何故實務的な商業學校や工業學校方面の話がないのでせうか？ 試みに現代の就職戦線から見た社會情勢を記して見ませう。

今日の雇傭主は、その立前からしても實用主義であることは申す迄もありません。それで求むる人は多く實務學校出身者で、商業工業は優遇され、中學卒業生に對して見向もされない状態であります。又たまに中學卒業生を採用しましても給料の點では商業工業の卒業生より悪いと云ふことだけ一般父兄の方々が充分留意して置いて貰ひたいのであります。そこに進學に際して用意と心構へが必要なのであります。『友達が中

學へ入學したから宅の子も中學へ！』と云ふことはよく聞くことでありますが、中學へ入れた上は更に専門學校か、大學へ入れるなら知らず只自分達の經濟的能力を考へないで、意地や見榮や單なる親心から中學へ入れることは、卒業後の就職の際の不利な點から見ても餘程考慮せねばならぬことと思ひます。今日の日本が、世界の農業國から更に進んで、工業國への躍進に對しても父兄は固より、教育當路者も中産階級子弟の教育に對する實務學校施設の研究はして欲しいと思ふのであります。

二、社會に於ける人事行政の展望

現代の雇傭主が人を求むるに、學歷に重きを置くことを申上げました

が、然らば現在官廳、會社、銀行、商店、工場等各方面に於ける學歷から見た人事構成組織はどんな風であるかと申しますと、一概には云へませんが、大體に於て左の様な傾向にあることは考へられます。即ち

- 1 上層部 大學若くは専門學校卒業者。
- 2 中層部 専門學校若くは中等學校卒業者。
- 3 下層部 高等小學卒業者。

以上の様な構成になつて居り、中には事業の關係から全然小學校出身は最初から採用しない處もあります。この學歷の點から見た、地位的の將來性は小學校出て精々、中層部に昇格する位で、上層部までは殆んど夢想だも及ばない。併し中層部以上に於ては、官私學閥の闘争が可なり

激烈だと聞いて居ります。只最近面白いと思はれる傾向は、官廳方面は別として銀行、會社、商店方面の採用方針の中に、從來歓迎されてゐた秀才なる者の忌避されることとあります。これは何故かと調べて見ますと秀才は就職後自己の學才に慢ずる。そして理屈を云ふ。稍ともすると思想かぶれの怖れがあると云ふのです。之に引きかへ學業は中以下の方が却つて良いと歓迎される理由は、『自分は學校で成績が悪かつたのだから實社會でその埋め合はせをしやうと異常の努力をする』と云ふにあるので、非常に面白い採り方だと思ひます。此の點現代青少年の充分注意すべきだと思ひます。

三、少年職業問題の特異性

少年の職業問題に對しては今日世界各國共非常に關心を持ち國際労働會議でも屢々論議されてゐます。申す迄もなく其の國家が現代の國民の養成と云ふことを考へるからであります。最近小學校は固より、中學校に於ても職業指導をなすことの必要を叫ばれて來ました。これは當然の事、可否を論ずる必要はないと思ひます。只併し學校に於ける指導が、往々教育的に流れ、實際に即しない一面に餘りに理想に走り過ぎる嫌ひはありはしないか、中には相當熱心な研究家もありますが、稍ともすると經濟組織や風俗人情の異つた歐米流に立脚せられそれが、都會も地方

も一率に取扱はれんとする傾向に對してはどうかと思ふのであります。最近地方少年の希望職業が、都會の少年と共通性を持つ傾向にあることは、指導の上から或は就業の關係から充分注意せねばならぬ事と思ひます。

更に又、少年の就職斡旋に際しても、現在の學校に於ける先生や職業紹介所員、或は父兄等の取扱はれる方針が割合に就職と云ふことに重きを置かれ救貧的な社會事業的に流れはしないかと云ふことであります。が、もつと産業的見地から扱つて頂きたい。前々からも申しました様に、少年の職業問題はどこまでも教育的指導的であらねばならぬ。大人の職業問題は或一面救濟の意味が過分に含まれてゐませうが、少年の場合は

寧ろ防貧的見地から指導し、就職斡旋せねばならないと思ふのであります。

四、少年の就職と年齢の關係

青少年の心身共に發育途上にあるものが、早期就職と云ふことが精神的、生理的發育將た又將來の産業發達の上に弊害のあることは各國共に認められ、國際労働會議に於ても少年の就勞に關する幾多の保護法令が造られてゐるのであります。即ち外國では

一、就勞年齢を十六歳迄とし、十八歳までを保護職工とす。事情によつては、十四歳以上十六歳未滿のものを使用することを得、但し勞

働は必ず教育的訓練的目的と方法を課せられること。

二、労働児童には補習教育を施すこと。

此外、就労時間、休養期間、保健施設等につき研究強要されてゐるに對し日本では、

- 一、十四歳を最低年齢とし、十六歳迄を保護職工と定め、例外として十二歳以上十四歳未満の小學校教科修了者の使用を認める。
 - 二、就労時間は一日につき十一時間を超ゆるべからず。
 - 三、就労時間中一時間以上休養時間を與ふこと。
 - 四、一ヶ月二回以上の休日と與へること。
- 此外、夜業を禁止し危険又は有害な作業に使用することを禁じてゐま

すが、歐米に比べますと二年の就職年齢低下であります。が、文部省の義務教育延長により少なくとも工場法の例外規定だけは除去されることと思ひます。

第四章 人口増加に對する青少年の職業問題

一、都市と地方との少年人口

最近の統計による我國の人口増率は、一年に約百萬人から増へて來る有様であります。此内青少年の所謂生産年齢に達した十五歳から十九歳までの人口の割合は、千人に對して百十三人（昭和九年内閣統計局調査）となつて居ります。併もこれを都市と地方と比較して見ますと、地方の青少年よりも都市の青少年の方が多少膨脹してゐるのであります。一時青少年が地方から都會へ集注することに對して政府當局でも失業問題

に關聯して都市集中を防止した様なこともありました。しかしこれも其の後失業問題の深刻に伴つて稍緩和された傾向もありますが、今日に於ても尙地方農村では人口に比例して割當反別が少ないとの聲があり、ともすると都市就職希望の傾向を見るのであります。前申上げました様に都會に於ける青少年の人口比率は地方よりも多く、地方青少年の都市割込は數の上に於て困難と見ねばなりません。只茲に多少考へさせられるのは、都市少年が多く通勤の職業を希望するに對し、雇傭者が住込みを要望してゐる點に於て、就職斡旋の上から多少地方青少年によつて補はねばならぬと思ふのみであります。

二、都市少年の希望職業

都市に於ける青少年は、地方少年に比して文化の程度も幾分高く、又その父兄が多くサラリーマン階級にある爲めか、希望職業に對しその約八〇%は通勤を希望してゐるのであります。左に茲兩三年の東京市内の高等小學校卒業児童の希望職業について見ますと、其間の事情を説明するに足りると思ふのであります。(東京市少年少女職業紹介所扱)

希望職業	昭和十年三月卒業児童			同十一年同			同十二年同		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計
工業	二、三九六	七四三	三、一四〇	二、一六九	七三三	二、九〇三	二、四八六	七〇七	三、一九三
商業	二、九三二	四六〇	三、三九二	四、七三六	八二八	五、五六四	四、三三三	五八八	五、九二一
土木建築	四、八七九	六八九	五、五六八	七、三三三	八三六	八、一六九	三、三三三	五八八	三、九二一
農林業	五	一	六	一	一	二	一	一	二
通信運輸	二八	三八〇	四〇八	三三	三三三	三六六	三〇	四二二	四五二
給仕及家事見習	九三〇	一、八二二	二、七五二	六九六	一、七七一	二、四六七	八二九	一、九七二	二、八〇一
其他雜業	二〇五	七二七	九三二	二〇五	一、一三三	一、三三八	九三	二四六	三三九
合計	八、三三二	二、〇八一	一〇、三四三	一三、七〇〇	二、九〇七	一六、六〇七	五、九二七	三、九〇五	九、八三二

註 太字は求人数を表はす。尙聯絡小學校は十一年三月までは六十四校、十二年は五十八校であります。

右表に示す如く、求人求職關係が小店員と給仕の二點に非常に開きがあり、需給關係が困難になるのであります。此間工業方面志望者の逐年増加するのは、矢張り軍需工業旺盛に刺戟されたものと思はれますが、給仕方面は矢張り少年の向學慾から來たものと思ひます。これに反し小
 店員希望者は逐年減少して來て居ります。これは昔の様に年期奉公して、聽て暖簾を分けて獨立さして貰つた時代から切り放された凡てが給料制度となり、將來の保證性がない爲めと、更に小店員の勤務時間が通勤に比べて非常に長過ぎる迄住込み、店員の勤務時間は平均十五時間半となつて居る點も少年達が忌避するものと思はれます。これも内務省提案の商店法が施行されたならば多少緩和されることと思ひます。

第五章 女子の職業

一、女子の特異性と低賃銀關係

最近對外爲替の暴落と各國が日本に對する經濟封鎖的關係は、勢ひ一般商工業者が世界の市場で競争するには安價なるを以て臨まねばならぬ。そこで男子より割合賃銀の低い女子を求むることは必然でありませう。一面日本の海外輸出品製造が、多くデスクワークによるものが大部分で、それには男子よりも從順で手先が器用で、仕事が綿密で忍耐性に富むと云ふ點に於て歡迎されるものと思ひます。更に一面では女子は一

定の結婚年齢に達すれば自ら退職する故雇ふ方でも永久的に雇備關係にある男子よりも、女子の方が總て簡單でよいと云ふことも云へるのであります。これらの點から見て、工業は云ふに及ばず銀行會社方面でも此傾向を利用する風が見へるのであります。或る工場の如きは、重工業中ても簡易な旋盤工の如き激しい労働力を要しない作業は女子にてもよいとまで云つてゐます。これは男子に取つては非常な脅威と云はねばなりません。又給仕方面事務員方面でも、漸次女子の進出は少年諸君にとつて職場を侵蝕される一大脅威であります。

二、女子の職業に對する誘惑

少年の職業に於ても進學の機會の最も多い給仕志望者が憧れを持つ様に、少女に於ても相通じた職業に對する誘惑がある様に見受けられます。即ち、

- 1 勤務先の名聲(デパートの如きもの)
- 2 服装の美に憧れるもの(食堂喫茶部給仕の如きもの)
- 3 歡樂的魅惑によるもの(映畫、劇場等の案内人)
- 4 勤勞時間によるもの(官廳會社等の給仕)
- 5 收入に重きを置くもの(マネキン、モデル等)
- 6 就學慾によるもの(諸官公署銀行會社の給仕)
- 7 技能修得慾によるもの(同上及電話事務員等)

以上は其の一例を示したもので、その善悪可否については直に斷定を下すことは困難と思ひますが、兎に角最近に於ける女子の職業的意識は相當社會的に雄飛して來たことは否めない。これは寧ろ教育の進歩による自覺と、社會情勢のしからしむる處と云つてよいと思ふのであります。今彼女等の就職希望理由の最近に於ける傾向を見ますと、

イ、家計補助。

ロ、技能修得(裁縫、生花、簿記、珠算、タイピスト等)

ハ、好きな方面で働きたい。

ニ、夜學に行きたい。

等の可なり切實な理由を持つてゐますが、此外嫁入仕度の爲めに働く

もの、或は將來獨立した職業婦人となりたいもの等もあります。此中好きだからとか好きな方面で働きたいと云ふ者に對しては、父兄に於ても充分注意せねばならぬと思ひます。

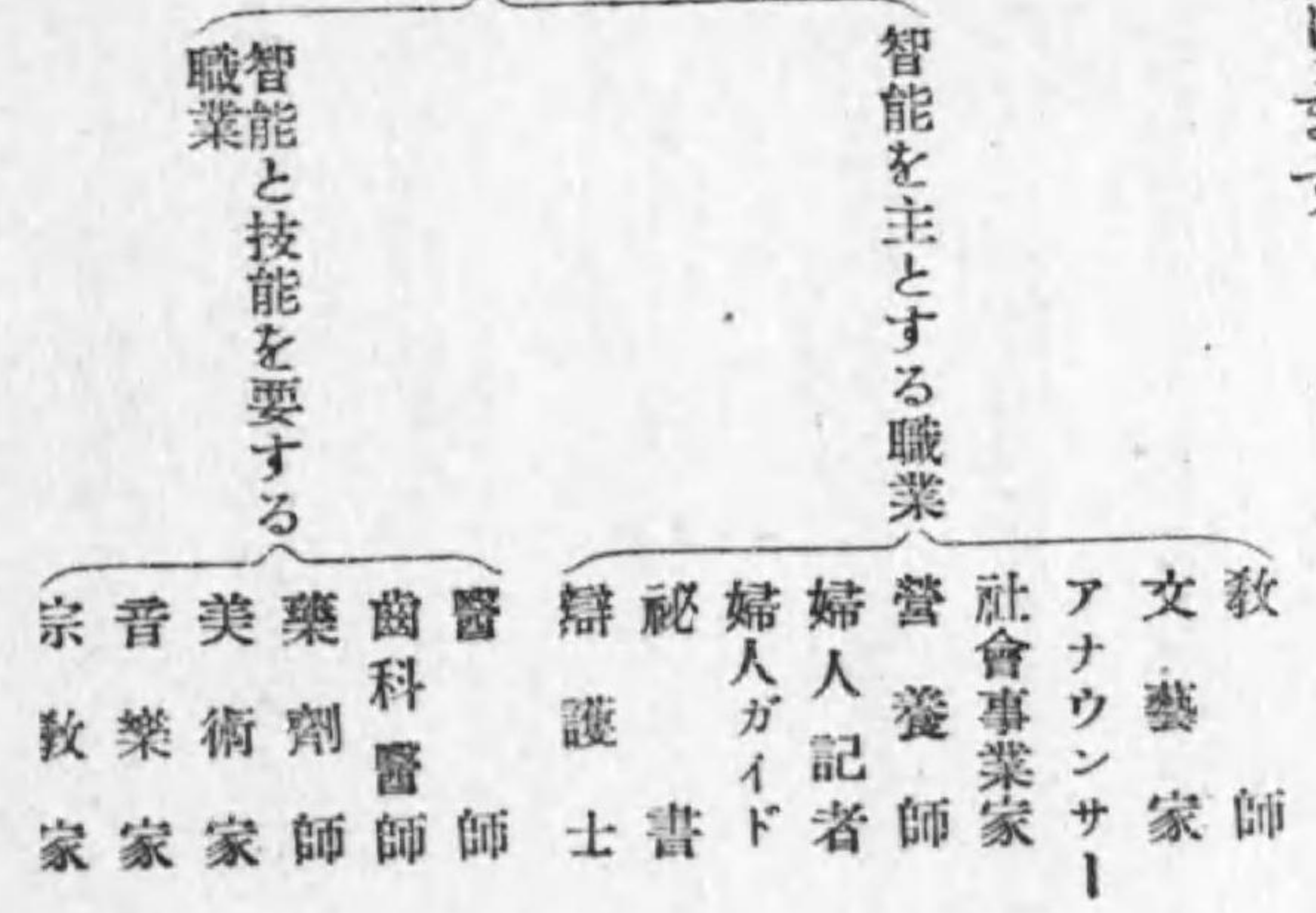
三、女子の適職と不適職

少女諸君が各家庭の事情や本人の希望等によつて職業に就かんとしても、矢張り少年の場合と同様に條件と資格と報酬と云ふことを先づ考へてからでないとその目的を達することが出來ないのみならず、終には取り返しのつかぬ道に踏み迷ふ結果に陥る怖れがありますので、充分に慎重に將來を顧慮して、就職されることが大切であります。東京市教育局

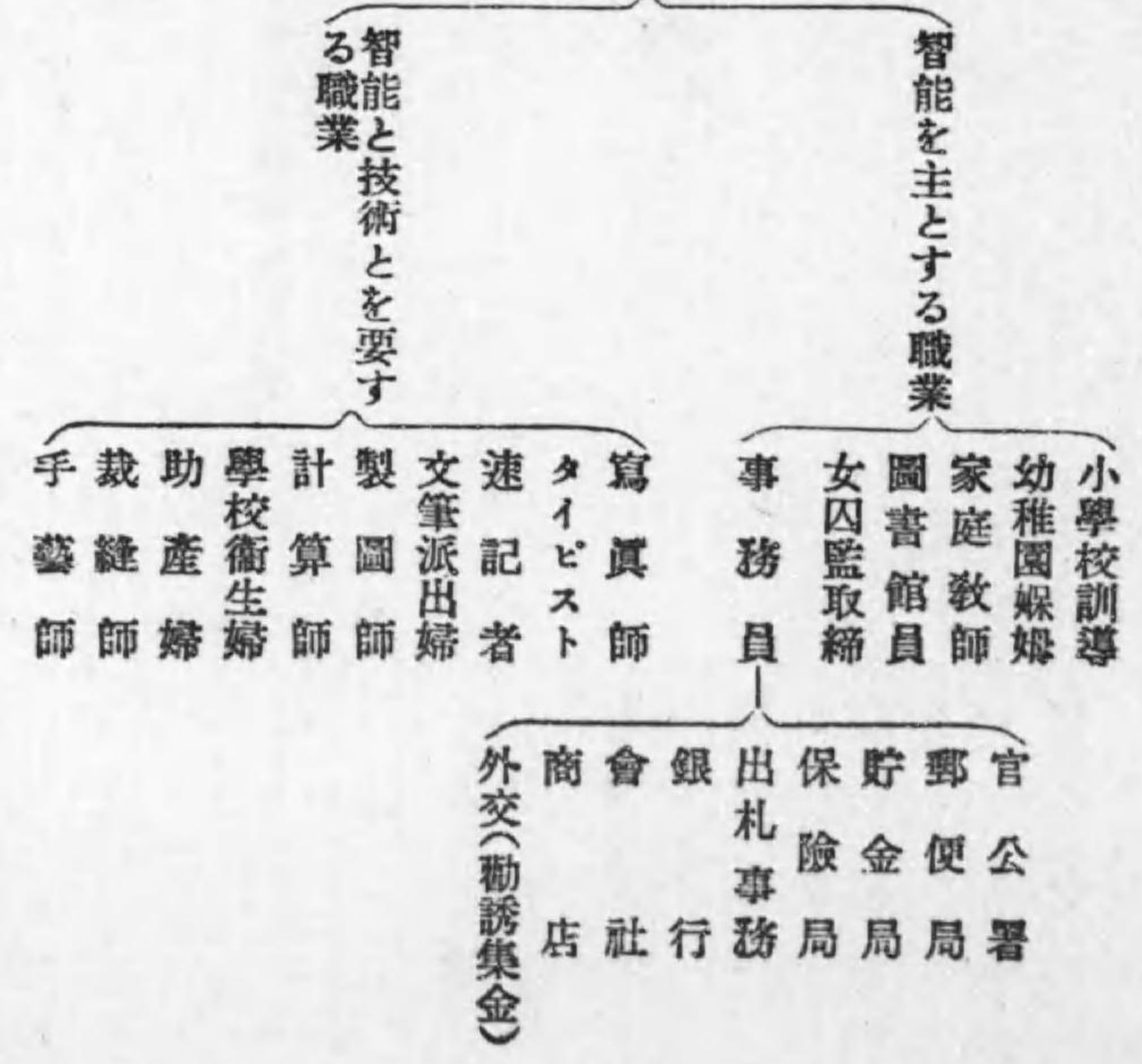
體育課の調査による女子職業の教養と技能との關係を見ますと、左の様な分類となつて居ります。

六〇

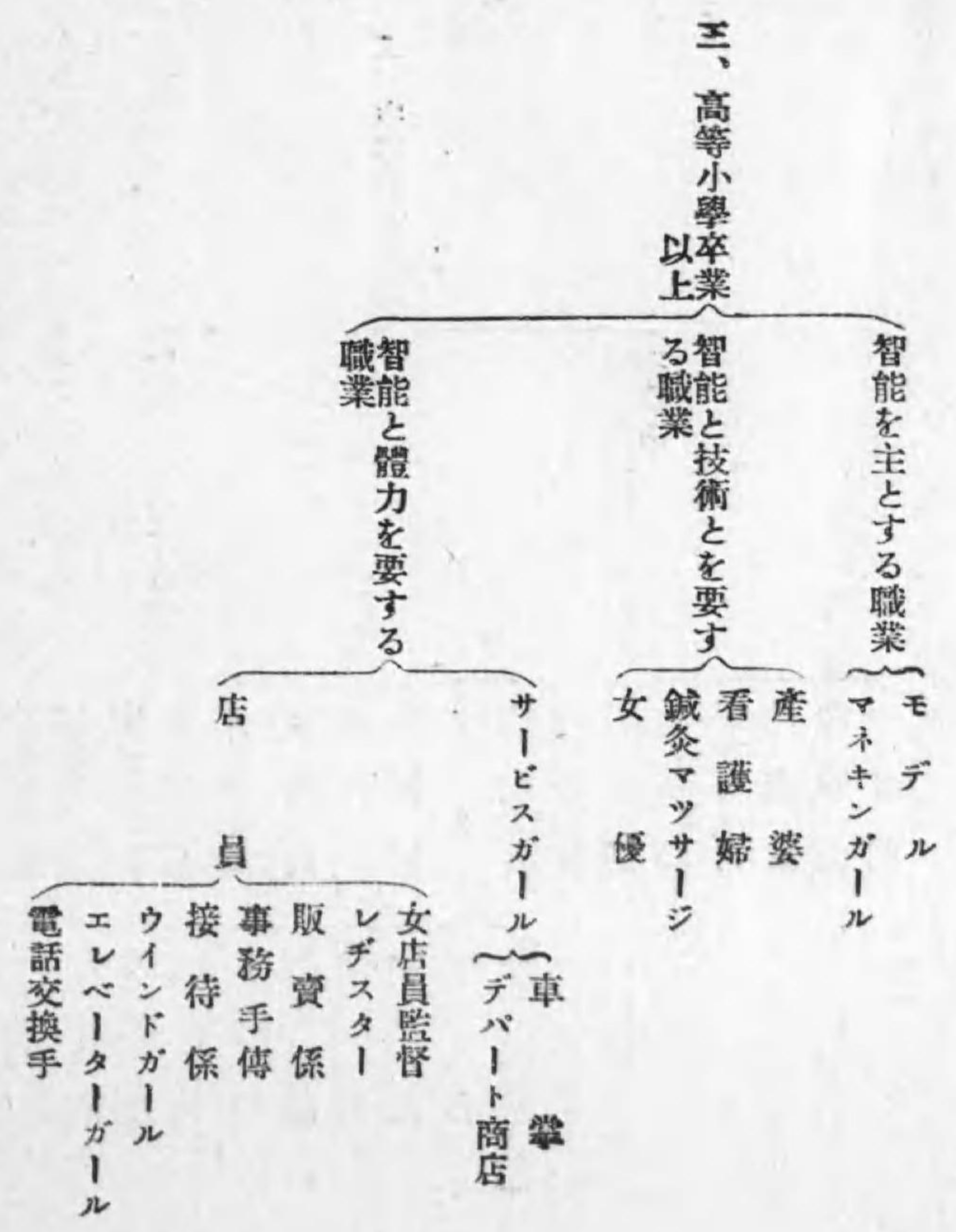
一、専門學校卒業以上



二、中等學校卒業以上



六一



以上は大體高等小學校卒業以上の女子の適職でありまして、更に女子職業と身體的關係について概略を申述べて見ませう。

身體的障害	不適當なる職業性質	不適當なる職業
容姿(畸形癡痕等)	衆人に接近指導又は作業	店員、教師、食堂ガール、小間使等
全身衰弱	強健なる體力を要する作業及接客	事務員、看護婦、店員、車掌、給仕等
視力障害	充分な視力を要し又は視力増悪する作業	製圖工、店員、タイピスト、裁縫師、美容師等
色盲	色彩、陰影等區別を要する作業	車掌、店員、事務員、給仕、交換手等
聽力障害	聽力を多使用するもの	計算手、店員、車掌、給仕、看護婦
言語障害	流暢なる辯説を要するもの	店員、教師、給仕、車掌
心臓疾患	立働等労働を要するもの重量災害多き職業	教師、看護婦、車掌、給仕、女工、案内人
脚氣、扁平足	直立、立働長時間歩行する職業	教師、店員、看護婦、給仕、車掌等
膏手	他人に接觸し又は食物、器具取扱汚染する職業	店員、看護婦、印刷工、製本、美容師
惡臭	衆人に接し又は衆人中に働くもの	事務員、タイピスト、看護婦、店員、給仕、車掌等

ロイマチス性體質	立働又は温度に變化ある職業	女工、車掌、家事婦、マネキンガール
脱	重きものを支へ腹壓を緊張するもの又は立業	看護婦、車掌、給仕、店員、案内人、舞踊師等
癩	職業	衆人中作業、階段昇降、危険物取扱

右表は女子の體質による不適職の一部分を摘出したもので、此外數へあげれば相當細かい職業に充當するものが可成りあります。これ等の身體的關係を充分考察しないと就職しても、永續しないのは固よりやがて健康を害し將來廢失者とならんとも限らないのであります。

四、就職の心得

女子の職業に對しては、年々需要が増すばかりで茲當分は減少するこ

とはないと考へられますが、これに對して少女諸君は男子に優れりとの早呑込みをしてはいけません。元來男子と女子とは先天的に體格力量等に於ては到底男子に及ばない點は否めない事實でありまして、女子には女子獨特の長所があるので、只その長所を適正に發達させて行くのが一番よいと思ひます。それで常に就職に際しては女子特有の長所、即ち

- 1 誠實柔和、綿密熱心。
- 2 從順、言語明朗。
- 3 謙讓、服裝清楚。

等の自己の長所を出来るだけ自然に態度に現はれる様日常修養するところが肝要であります。決して銓衡に際して殊更らしい態度や言動があつ

六六
てはなりません。殊に服装の如きも特に美衣を用ひる必要はないと思ひ
ます。要は只だ少年の場合と同じく、自己の性能に適した職業で決して
見榮や収入のみに走つてはいけません。結婚まで充分自分の學術や技能
やの修得に努め得る心掛が必要と思ひます。(完)

昭和十二年五月十一日印刷納本
昭和十二年三月四日發行

父兄に告ぐ
少年少女就職の心得
〔定價二十錢〕

不許
複製

著作者 岡野龍一
發行者 吉田謙太郎
印刷者 本間十三郎

社揚清・所刷印

東京市京橋區銀座西六ノ二・海洋ビル
日本講演通信社
振替東京 四〇三八八番
電話銀座(57)六六一〇番

337
1217

終

東 京
日 本 講 演 通 信 社
發 行

定 價 二 十 錢